

kirameki shower 詩画

柔らかい手



kiramekikids

汚れた手

子供の頃、誰でも輝きに満ち  
生きる喜びに溢れていた  
瞳は澄み、その手は柔らかく親愛に満ちていた

好き嫌いという対象が生まれ、徐々に苦しみをつくっていく  
好きなものには、翻弄され  
嫌いなものには、人生の影を強めていく

自らの心、引かれていくものには  
歯止めが利かず、苦悩し  
それを奪い取りたい衝動にかられたとき  
澄んでいた瞳は濁り、親愛に満ちていた、柔らかい手は  
硬く冷たいものになっている・・・